

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
6年

森林の働きを探求することで森の価値に気付く

「生き物のふるさと 幌南の森」 ～森林の働きって何だろう～

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

総合的な学習での時間では、実社会や実生活の事象などを積極的に取り上げると示されました。そこで、5年生で行ったカミネッコンによる植樹活動の体験をベースに、未来の森になる地域と現在の森を素材に学習をすすめていきました。諸感覚を通した森での共通体験を軸に、自然環境について考えます。

学習活動の流れ（26時間）

植樹に取り組む人々の広告と、5年生で行った、カミネッコンによる植樹活動の様子を振り返ることで、問題を把握します。

森林の働きは何かというテーマで探求的な学習が展開されました。【水資源を守る】【災害を防ぐ】【温暖化を防ぐ】【生態系を考える】といった仮説で学習は進みました。

下級生のためにどうするかを考えることで、森での共通体験をベースに、自分たちでできる活動を考え出しました。

世界の森林で何が起こっているの？（4）

- ・木はどこへいったのだろう
- ・木がないとどうして困るのかな？
- ・森林破壊という言葉聞いたことがあるけれど……
- ・人間の生活で森林が減っているんだ
- ・地球規模で深刻な問題なんだね

森林の働きを調べて伝え合おう（12）

- ・幌南の森をガイドと一緒に歩こう
- ・森を愛し、育てている人がいるんだ
- ・森林の働きは？
- ・これまで学習した方法を使って確かめよう
- ・森の働きは他にもあるのでは？

森の素晴らしさを伝えよう（10）

- ・幌南の森の素晴らしさを伝えるためにできることは？
- ・樹名板をつくってかけよう
- ・下級生のためにできることは？
- ・学校の財産を大切にしたいな

札幌の町を一望できる藻岩山。ロープウェイや登山道もあり札幌市民のいこいの場となっています。そんな藻岩山に、平成16年9月、台風18号が上陸して、暴風による被害をもたらしました。その森に植樹することから学習は始まります。



カミネッコンでの植樹活動

教材・活動の Point!



1. 植樹の広告から対象への関心をもたせる

あるお店のCMポスターを使い、わざわざ外国の裸地に植樹しているという事実を提示します。子どもたちは森林は大切だということを知っていますが、世界の森林で何が起きているのかといったことまでは深く考えてはいません。そこで、よく目にするポスターから課題をはっきりさせていきました。

2. 感性を磨く、森を歩く共通体験

実際に森を歩くことで、子どもたちは様々なことに気付きます。土の軟らかさ、樹木や木の実の様子、小動物、小川、水、空気それらのつながりを肌で感じるができるのです。みんなで歩くことで、自然に会話が生まれ、森本来の役割を感じることができました。



3. 学習の足跡が未来へ残る

森の役割を探求した子どもたちは、大切な森をいつまでも残したいという思いでいっぱいになります。そこで、代々続いていくカミネッコンでの植樹活動とともに、樹名板を掛けに行くことにしました。学習の足跡が未来に残ることを知った子どもたちは、意欲を高めます。

